

# 聴く

新潟いのちの電話だより

2015.12

No.127



相談電話

**(025) 288-4343**

上越(025) 522-4343

長岡(0258) 39-4343

新発田(0254) 20-4343

村上(0254) 53-4343

# ベランダ猫(3)

## パンツの子別れ

橘 玲子

3回目の猫のパンツの物語です。子ネコたちを連れて、次第に我が家のベランダで過ごす時間が長くなりました。私が餌をあげようとドアを開けると、子ネコたちはさっと物陰に隠れます。まだ足元もおぼつかないのに、パンツのしつけなのでしょう、見事なものです。やがて子ネコたちは、餌をめがけて寄ってくるようになりました。するとパンツは子ネコたちと私の間にさっと体を入れ、いかにも子ネコを守っているようでした。パンツと子ネコ4匹がぴったりと固まり爆睡する光景は、とても幸せそうです。猫好きの友人は「猫の詰め合わせ」と言っていましたが、うまい表現です。

さて、パンツの子育ては叱らない子育てです。食事は子ネコたちが食べ終わるのを待ってから食べ、自分だけ早朝に食べに来ても、少し食べると子ネコたちを連れてきます。しかし親子だけの濃密な関係は、2ヶ月半もすると変わってきました。好奇心旺盛なグレーの子ネコは早々に見えなくなり、続いて真っ白な2匹が一度にいなくなりました。さすがにパンツは落ち着かなく、さかんに探すそぶりをしていました。この頃から雄猫がちょろちょろとベランダのパンツを訪れてきました。

あるときパンツは、昨日までぴったりくっついていた1匹が餌を食べようとするのを威嚇し、激しい猫パンチを食らわせました。すさまじい迫力です。餌を食べ始めたパンツの側で、子ネコは固まったようにじっとしていました。さらにねぐらも追い出されたようで、ベランダで眠るようになりました。パンツはベランダに来て、餌を食べている子ネコを見るとそっと去って行きました。

その後パンツは2～3度来ましたが、子ネコがいるとそのまま去り、やがて姿を見せなくなりました。パンツの子別れが終わったのでしょうか。ノラの掟とはいえ、すごい世界ですね。

(新潟青陵大学 大学院 教授)

## ある日の相談室より

「私なんか、なくなればいい」そう話し始めたあなた。

出産後、体調が思わしくないことや家族の事業の失敗と残った借金。その対応に具合が悪い中奔走していること。なんとかしようと頑張っているけどなかなか事態は変わらず、夫ともうまうまいかなくなっている。一生懸命頑張っているのに、状況は悪くなるばかり。自分の大切な人たちとの関係もうまうまいかなくなっている。どこから何をしたらよいのか、いくつもまうまいかない事情や問題が重なって、先が見えない。

「もう疲れた」

いろいろな分野で相談できるところも調べ、ここにも電話をかけてきてくれました。投げ出したくなって当たり前と思われる状況、お話をお聴きしながら、その間ちょっと抱えている問題を横に置いて、肩の荷を下ろせる時間になればと願っていました。

「どこから手をつけていいか、わからないけれど、…目の前のことからやってみませんか」

目の前の今を何とか乗り切って、次に繋げていく、そうしてここまで来たあなた。

苦しい、悲しい、悔しい気持ち、いくつもの問題を抱えながらも、それでも必死に生きてきているあなたに、生きていく力を感じました。

(内容は、電話を基に構成し直したものです)



## 思い出からひとつ

青野 勇

好きな小説に『星と祭』(井上靖著)があります。琵琶湖で娘を亡くした父親が琵琶湖周辺に残る十一面観音を巡礼していく内容です。父親が湖北の自然と文化の中で、もがきながら「娘の死」を受け入れていく姿に私はひかれました。

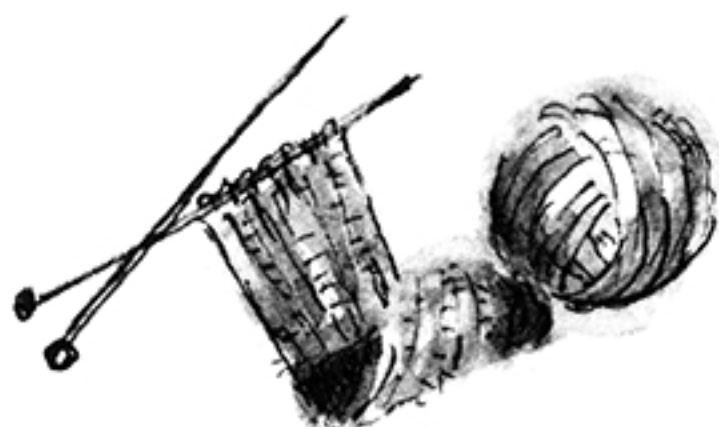
30年ほど前ですが湖北を訪ねました。ブームになる前だったこともあり、拝観の手はずに苦勞しました。その1つ、赤後寺は神社の片隅の観音堂です。お堂をお守りしている人(村人が順番に当番)を待っていると、高齢の女性がやってきました。鍵の掛かったお堂の正面の縁で、正座になって両手をあわせました。美しい姿でした。彼女にご本尊のことをお聞きすると、仏像の種類は分からないけれど、年に一度、深夜にお姿を拝むとのことでした。

その後、遅れてやってきた当番の方にお堂を開けていただき、ご自宅でお茶をごちそうになりました。

観音像は、彼女や村の人には信仰の対象で、私には美術品でした。大切なものを少し汚したような、そんな後ろめたさを抱いてあとにしました。

あの、手をあわせる姿の美しさは何故だろう。私がもらったものは何だろう。こんなことを考えながら、その時の思いを今も大切にしています。

(臨床心理士)



毎月10日(午前8時より翌日午前8時まで)は  
フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」が実施されています。

電話番号 0120-738-556



# お知らせ

今後の予定 (新潟いのちの電話主催)

## 県民たすけあい基金助成事業

講演会と電話相談員募集案内を行います。

### 〈新潟会場〉

日時 2016年1月16日(土) 13時30分～

会場 メディアシップ 日報ホール

講師 あまみやかりん  
雨宮処凛 氏  
作家・活動家

演題 「生きづらさを生きる・支えあう」

## 公開講座

日時 2016年2月19日(金) 18時30分～

会場 メディアシップ 日報ホール

講師 かんさんじゅん  
姜 尚中 氏  
東京大学名誉教授

演題 いのち  
「生命は何によって輝くか」

## 心の健康セミナー

### 〈胎内会場〉

日時 2016年3月6日(日)

13時30分～(予定)

会場 胎内市産業文化会館

#### ・津軽三味線

史佳と母 竹育が語る

史佳を「うつ」から立ち直らせた

母の支えと津軽三味線の響き

史佳Fumiyoshi・高橋竹育

#### ・こころと薬の話

新潟いのちの電話理事長 及川紀久雄

ご支援ありがとうございました

後援会の皆さまはじめ、たくさんの方々のご支援に支えられ、チャリティバザーは9月27日、盛況のうちに終了しました。厚く御礼申し上げます。

## 34期ボランティア相談員募集

一緒に活動する仲間を募集します。

申し込み期間

2015年12月1日～2016年2月29日

研修期間

2016年4月～2017年3月まで1年間

年齢 23歳から66歳まで

受講料

年間3万円と一泊研修の実費  
(補助の場合あり)

募集要項など詳しくはホームページをご覧ください。事務局にお問合せください。

## クリスマス・歳末募金のお願い

今年も引き続き、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2015年12月1日発行

社会福祉法人 新潟いのちの電話

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3 新潟ユニゾンプラザ ハート館

事務局 TEL (025) 280-5677 FAX (025) 280-5677

ホームページアドレス <http://www.ni-denwa.jp/>

## ひとつきあい

まわりには だいたい  
気がねなくつきあえるひが多い  
一緒にいても 気が楽だし 信頼もできる

だが困ったことに そうでないひもいる  
こちらは気をつかい 相手はつんとして  
できるなら 避けて通りたいひとだ

それなら このわたしはどうなのか  
ひとに どう思われ  
どう振舞われているのだろう

だが このわたしが  
他人を理解しようとし  
その助けになりたいと思っているなら  
そのことで 悩むことはない

時には 偉そうにし  
また 時には 落ち込んでしまう  
このわたしも  
それはそれで よいのだ